

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成30年3月

近隣地域からの侵入で広がりました。鹿児島県では一般防除種に指定され、鹿児島市、薩摩川内市、南九州市、志布志市で確認されています。在来植物との競合やトゲによる怪我などの人間への健康被害が出ています。自己の管理地に生えている場合は、できれば刈り取り、抜き取りにより除去しましょう。芝生の広場などでは手をついたり、裸足で歩いたりして怪我をしないよう注意しましょう。

1 基本情報

分類		
目・科名	キク科	
種名(亜種名)	メリケントキンソウ	
学名	<i>Soliva sessilis</i>	
環境省カテゴリー	—	
県カテゴリー	一般防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	前頭(本土)	
番付表掲載の理由	県内の生態系等に大きな影響を与える又は与えるおそれのある外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	—	
侵入・定着の状況		
自然分布域	南米	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	近隣地域などからの侵入 (靴底に種子がつくことによる分布拡大)	
県内の侵入分布	鹿児島市、薩摩川内市、南九州市、志布志市	
全国の侵入分布	本州(関東以西)、四国、九州	
生態学的特性		
生態	発芽してから1年以内に、開花・結実し種子を残して枯れてしまう植物である一年生草本であるため、結実すると植物は枯れる。	
形態	高さ5cm程の一年生草本。 全体に目立つ軟毛が生える。枝は頭状花を囲む葉のわきから出て、伸長し、黄色の頭状花をつける。果実はカブトガニに似た形をしており、トゲを持つ。	
繁殖形態	秋頃に芽を出し(発芽)、4~5月頃に花を咲かせ(開花)、5~6月頃に種子をつける(結実)。	
生息環境	公園、道端、空き地、芝生などの明るい場所に生育する。	
特記事項	—	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①在来植物と競合。 ③トゲによる怪我などの健康被害。
県内で特に予想される被害	在来植物と競合。トゲによる怪我。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①繁殖能力の高さ。 ②靴底に種子がつくことによる分布拡大。
3 対策	
メリケントキンソウを見つけたら	自己の管理地に生えている場合は、できれば刈り取り、抜き取りにより除去しましょう。芝生の広場などでは手をついたり、裸足で歩いたりして怪我をしないよう注意しましょう。
見分け方	メリケントキンソウは、葉が明るい緑色、枝には、全体に目立つ軟毛が生える、果実には硬く鋭いトゲがある。シマトキンソウは、葉がくすんだ緑色、枝には毛が少ない。
見かけやすい場所・時間	公園、道端、空き地、芝生などの明るい場所に生育する。
防除方法	刈り取りや抜き取り、可能な場所では薬剤による防除。一年生草本のため、結実すると植物は枯れる。そのため、駆除の時期としては、2月下旬～4月上旬の開花時期前が効果的である。
防除の取組事例	静岡県浜松市ではホームページにメリケントキンソウについてのサイトを作成している。
その他	トゲを出す5～6月頃は特に危険な時期であるため、芝生や草むらに直接座らない、手をつかない、裸足で歩かないなど注意が必要。
参考資料・参考URL	鹿児島県ホームページ 外来生物「メリケントキンソウ」に注意しましょう。 http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/gairai/meriken.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 浜松市ホームページ 芝生地内のメリケントキンソウ(外来植物)にご注意ください！ http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kouen/park/parks/talk/merikentokinsou.html